

日本全国“コリ”調査！

“全身コリ県”は長崎！ 部位ごとでは「肩」「首」「腰」で島根が1位を独占
 コリへの対処に地域差!? 「新潟」はコリを感じても「何もしない」約6割
 全身のコリに！ 小さくてはがれにくい「ロイヒつぼ膏_{TM}クール」

肩こり・腰痛の貼り薬「ロイヒつぼ膏_{TM}クール」（第3類医薬品）を製造販売するニチバン株式会社（代表取締役社長：堀田直人）は、このたび「体のコリ」をテーマに調査を行いました。

今回の調査は、全国47都道府県の働く男女、各県100名ずつ、計4,700名に対して実施。都道府県ごとに、どのようなコリの傾向があるのか、様々な角度から調べました。

【調査概要】

調査名：体のコリに関する意識・実態調査

調査期間：2018年5月18日（金）～5月22日（火）

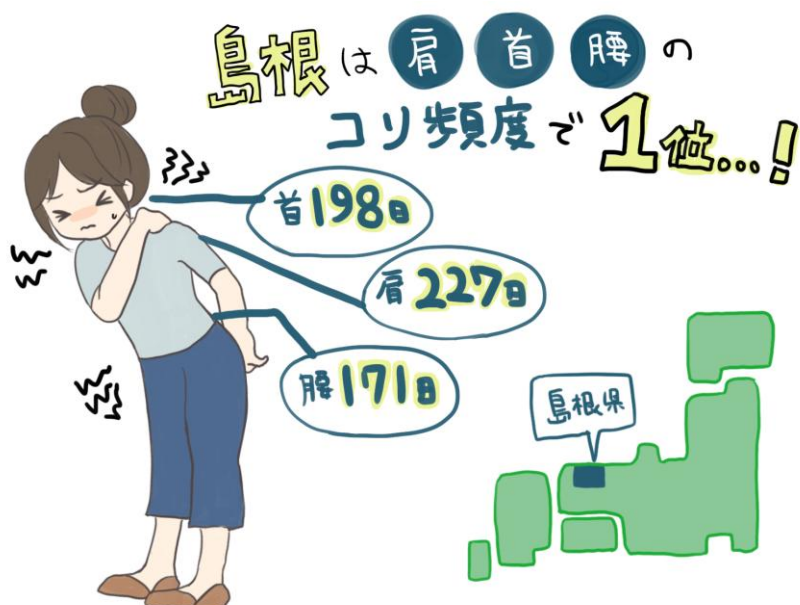
調査対象：20～50代 有職男女4,700名（性別・都道府県均等割付）

調査方法：インターネット調査

■ 全国のコリやすい部位トップ3「肩」「首」「腰」、島根が“コリ頻度”1位を独占

まず、それぞれの部位*に対し、年間で何日程度の頻度でコリを感じるか聞いてみると、全国平均は「肩」が「186日」で1位に。2日に1回に近い頻度で肩のコリを感じている計算になります。肩と同時にコリやすい「首」が「166日」で2位となりました。3位は「腰」で、「127日」でした。一方、もっとも低かったのは「お腹」。「20日」と、かなり少ない日数ながら、コリを感じている人はいるようです。*「頭・顔」「首」「肩」「背中」「お腹」「腰」「おしり」「上腕」「前腕」「手首」「ふともも」「すね・ふくらはぎ」「足首」「足の裏・甲」「その他」の15項目

都道府県ごとに比較すると、コリを感じる頻度の全国平均でトップ3となった部位、「肩」「首」「腰」すべてで「**島根**」が1位を独占。「肩：227日」、「首：198日」、「腰：171日」と、いずれも全国平均を30日以上上回る結果でした。一方、それぞれの部位について一番コリを感じていなかったのは、「肩」は「佐賀」（149日）、「首」は「石川」（125日）、「腰」は「秋田」（90日）でした<表1>。



年間、何日程度の頻度でコリを感じますか？（部位別）

【肩】	【首】	【腰】
1位 島根 227日	1位 島根 198日	1位 島根 171日
2位 徳島 219日	2位 埼玉 194日	2位 熊本 163日
3位 静岡 217日	3位 静岡 188日	3位 大阪 156日
4位 埼玉 205日	3位 徳島 188日	4位 大分 154日
4位 長崎 205日	5位 滋賀 186日	5位 香川 143日
⋮	⋮	⋮
45位 秋田 156日	45位 富山 136日	45位 石川 101日
45位 沖縄 156日	46位 鳥取 131日	46位 福井 94日
47位 佐賀 149日	47位 石川 125日	47位 秋田 90日
全国平均 186日	全国平均 166日	全国平均 127日

表 1

また、都道府県ごとに、コリを感じる頻度について、すべての部位の平均を算出したところ、「長崎」が1位に（98日）＜表2＞。「上腕」「前腕」「手首」と「腕全体」、そして「おしり」「足の裏・甲」で1位となった他、14位となった「首」を除いてどの項目でも上位10位以内に食い込んでおり、慢性的にコリを感じている人が多い「全身コリ県」と言えそうです。

年間、何日程度の頻度でコリを感じますか？（全部位平均）

1位 長崎 98日
2位 東京 95日
3位 島根 93日
4位 千葉 89日
5位 大阪 88日
⋮
45位 佐賀 58日
46位 鳥取 57日
47位 秋田 52日
全国平均 75日

表 2

■「香川」「北海道」は「コリ早熟」!? コリを感じ始めた時期は平均「25.6歳」

次に、何歳くらいからコリを感じるようになったのか聞いてみると、全国平均は「27.7歳」という結果に。若いころからコリを感じている「コリ早熟」な都道府県は「香川」「北海道」で、全国でもっとも若い「25.6歳」からコリを感じていました。一方、もっともコリを感じるようになった年齢が遅かった都道府県は「福井」で、「30.3歳」からとなりました＜表3＞。「香川」「北海道」と「福井」では4.7歳もの開きがあります。

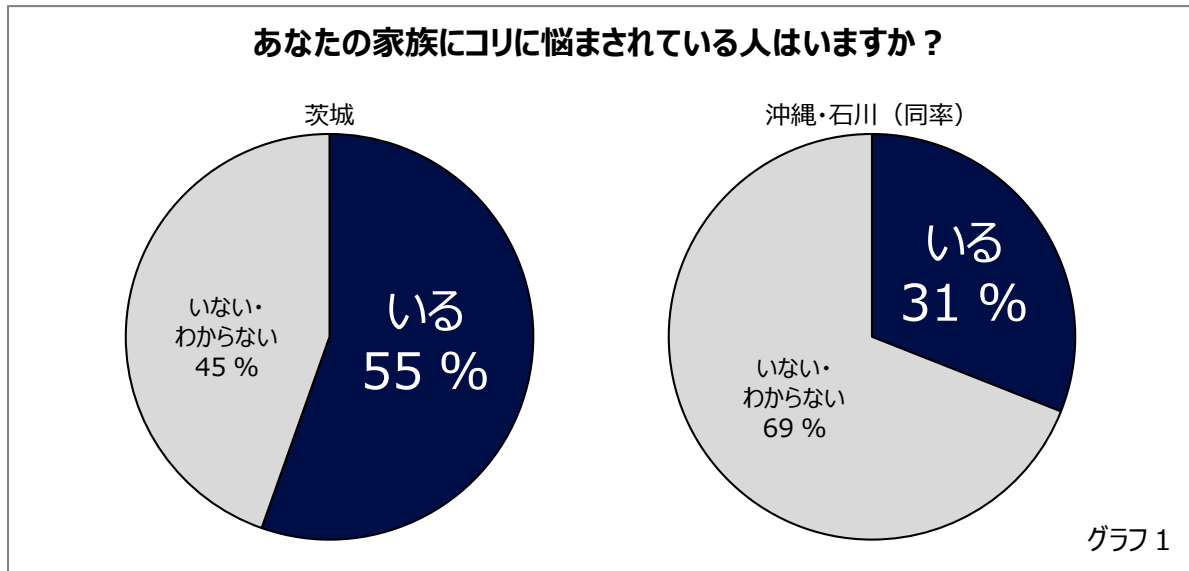
何歳くらいからコリを感じるようになりましたか？

1位 香川 25.6歳
1位 北海道 25.6歳
3位 和歌山 26.0歳
3位 岩手 26.0歳
3位 兵庫 26.0歳
⋮
45位 石川 29.9歳
46位 青森 30.2歳
47位 福井 30.3歳
全国平均 27.7歳

表 3

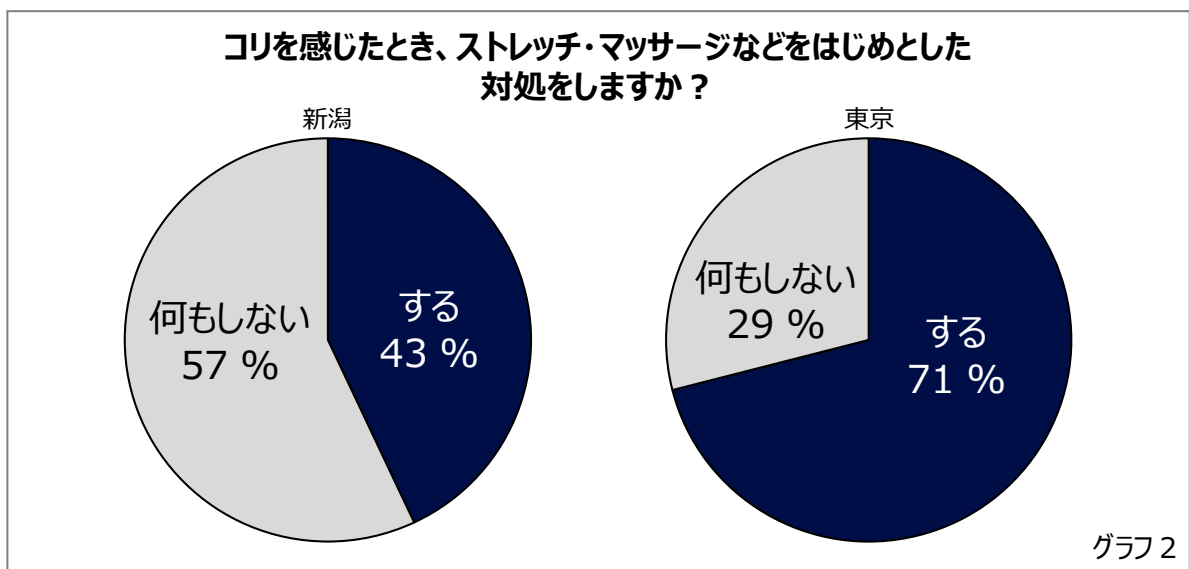
■「家族もコリに悩んでいる」、最多は「茨城」 最少は「沖縄」「石川」に

また、一部位でもコリを感じている人に対し、コリに悩まされている人が家族にいるか聞いてみたところ、「いる」と答えた人が一番多かったのは「茨城」。**55%と半数以上が家族もコリに悩まされている**ようです。また、「コリに悩まされている家族がいる」と答えた人が最も少なかったのは同率で「沖縄」と「石川」。「いる」と答えた人は共に31%のみでした<グラフ1>。



■コリへの対処法にも地域差!? 「新潟」はコリを感じても「何もしない」約6割

コリを感じたときの対処法を聞いてみたところ、「新潟」は約6割（57%）が「何もしない」と回答。一方、「何もしない」という回答が一番少なかったのは「東京」（29%）で、その差はなんと28%にもなりました<グラフ2>。東京はコリに対する意識が高い、と言えそうです。



具体的な対処法を全国で見ると、「ストレッチをする」（52%）、「自分で揉む」（49%）、「貼り薬を貼る」（33%）が人気でした。さらに、コリ対策・対処に使う金額（年間）を聞いてみたところ、全国平均は10,044円。もっとも使っていたのは「香川」で、年間20,774円と全国平均の2倍以上の支出となりました。

■コインサイズで貼りやすい！ 夏にうれしい冷感の「ロイヒつぼ膏_{TM}クール」

コリへの対処は様々ありますが、我慢せずに早めに行うことが重要。ロイヒつぼ膏_{TM}クールなら、夏のほてった体にもスーッと効きます。

ロイヒつぼ膏_{TM}クール 第3類医薬品



効能・効果

肩こり、腰痛、関節痛、筋肉痛、
筋肉疲労、打撲、捻挫、骨折痛

【特長1】貼りやすい丸形。

貼りやすく、ピンポイントに効く、直径2.8センチの丸形サイズ。うれしい156枚入り。

【特長2】つらい痛みにスーッと効く冷感刺激。

有効成分のサリチル酸メチル、*l*-メントールなどの鎮痛消炎成分が肩こり・腰・関節・筋肉のつらい痛みにスーッと効く冷感タイプ。

【特長3】目立たない。よく付く。

肌になじむベージュ色。激しく動いてもはがれにくく、貼っていることを忘れてしまうほどの貼り心地。

【特長4】優れたフィット感。

皮ふの動きにあわせて伸縮する、ポリエステル編布を素材に使用。

詳細ページ

<http://www.roihi.com/tubokou-cool.html>

■このリリースに関するお問い合わせや取材、資料をご希望の方は下記までご連絡ください■

トレンドーズ株式会社 担当：松浦（まつら）

TEL：03-5774-8896 / FAX：03-5774-8872 / mail：press@trenders.co.jp